

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	大腸癌 Panitumumab+CPT-11療法
疾患名	大腸癌
診療科名	消化器内科
登録医師名	豊川 達也
適応	大腸癌

臨床区分
<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療
<input type="checkbox"/> 単施設自主研究
<input type="checkbox"/> 他施設自主研究
<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究
<input type="checkbox"/> 治験

抗癌剤適応分類
<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法
<input type="checkbox"/> 術後化学療法
<input type="checkbox"/> 術前化学療法
<input type="checkbox"/> 局所療法
<input type="checkbox"/> その他

登録日	2013年1月4日
※2025/6/5改訂	
1クール期間	14日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント	
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
1	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
2	グラニセトロン点滴静注液3mgパック デキサード注射液 6.6mg	1 1.5	袋 瓶	点滴静注	側管	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	生理食塩液 ペクティビックス点滴静注	100 6	mL mg/kg	点滴静注	側管	60min※	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1)投与終了後1時間は、経過観察すること 経過観察は2回目以降省略可
4	生理食塩液 イリプテカン塩酸塩点滴静注液	500 150	mL mg/m ²	点滴静注	側管	90min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5																		

備考欄
 ※生理食塩液で希釈後の点滴溶液中の本剤の最終濃度は10mg/mLを超えないこと。本剤は、60分以上かけて点滴静注すること。ただし、1回投与量として1,000mgを超える場合は、日局生理食塩液で希釈し約150mLとし、90分以上かけて点滴静注すること。
 改訂内容：ペクティビックス後の経過観察は2回目以降省略可

文献
 Chibaudel B, et al.:ASCO 2011
 化学療法のレジメン講座（消化器癌治療の広場）

減量・中止基準
 CPT-11：白血球数<3000/mm³または血小板数<100000/mm³の場合は、投与中止または延期

<Panitumumab>
 Grade3以上の皮膚障害発現時の用量調節の目安

皮膚障害の発現時の本剤の投与量	本剤の投与	投与再開の基準	本剤の用量調節
6mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade2以下に回復	6mg/kgまたは4.8mg/kg
4.8mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade2以下に回復	3.6mg/kg
3.6mg/kg	投与中止	-	-